

令和8年度 第1回 高鷲地域協議会 要録

【日時】 令和8年5月11日（月） 19:00～21:30

【場所】 高鷲振興事務所 2階 第2会議室

【出席者】 委員：蓑島 俊輔、丸田 純也、蓑島 治明、仲谷 志保、麦島 洋介
下牧 直哉、清水 聡、福手 均、上村 英二、
事務局：永瀬高鷲振興事務所長、大口地域振興係員

【欠席者】 委員：野田 育子、山根 麻子

【傍聴者】 無

○開 会 19時00分

○委員委嘱 委員名簿

○第3次総合計画、地域運営組織について（市民協働課より別添資料にて説明）

○高鷲振興事務所長あいさつ

○自己紹介

○連絡事項

1. 令和8年度高鷲振興事務所組織図について
事務局より説明

2. 住民自治基本条例
事務局より説明

3. 地域協議会設置規則
事務局より説明

○協議事項

1. 役員の選出について

立候補、推薦はなく事務局案提示の声があったため、配布し委員了承
会 長：上村英二 副会長：清水聡、蓑島治明、福手均

2. 事業計画書（案）予算（案）について
事務局より説明

委員：公共交通視察先が長野県となっているが決まっているのか

事務局：決まっておらず、予算内であれば検討していただいて視察先を変更しても良い

3. 専門部会の持ち方

事務局：専門部会ごとに委員がそれぞれの場所に分かれてグループワークをするのではなく、
専門部会の協議テーマについて時間で分けて全員参加型で議論していくのではど

うかとの提案

異議なしにより次回より実施

委員：福祉部会という名前だと高齢者のことを考えるというイメージがどうしても強くある。
しかし、高鷲地域では年々子供の数も減少し、それによる課題がゆくゆくは出てくる。
その際に、子供のことも考えられる福祉教育部会という名前に変更したい
異議なしにより令和8年度より福祉教育部会へと名前の変更

4. 令和7年度専門部会の振り返りと令和8年度検討していくべきこと

ビジョン部会

事務局より説明

ICT部会

事務局より説明

福祉部会

事務局より説明

委員：福祉部会について、高鷲地域デマンドバスについても郡上市の公共交通の政策があったからできた。新たに二次的公共交通のライドシェアを検討することに対して制度設計等の相談には乗れるが実施するのは行政の役割である。そして、自主運行バスから高鷲地域デマンドバスへと変わったことによりドア to ドアで目的地に向かえるようになり大変便利になっている。住民にもっと周知してほしい。

委員：地区社会福祉協議会の福祉委員の審査会が6月にあるが今年度は公共交通のデマンドバスの話をして周知をする。

5. R7 地域振興推進事業の共有

事務局より資料にて説明 ・たかすふるさと祭り・花飾り推進事業

・UMAP・子供見守り活動事業

・たかす地域おこし実践隊・移住定住担い手づくり推進事業

委員：地域おこし実践隊の予算はつけられるのか

事務局：もし実践隊を希望する方が見えれば要求はできる。郡上市の地域おこし協力隊は他市とは制度が少し違う。他の市の地域おこし協力隊は市の会計年度職員として勤めるが、郡上市は受け入れ団体に所属するような形で地域おこし協力隊を行っているため、受け入れ団体と一緒に地域に密着して動ける利点がある。この制度があり、他市と比べ地域おこし協力隊が任期終了した後に郡上市に残り続ける方が多い。

○閉 会 21:30